



報道発表資料

2000年7月28日
インフォテリア株式会社

**インフォテリア、
欧米で最大の実績を持つ XML スキーマ設計ツール XML Authority を出荷開始**

～ 発売を記念し、話題の PDA「SONY PEG-S500C」が当たるキャンペーンを実施 ～

インフォテリア株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:平野洋一郎)は、2000年7月28日より XML スキーマ^{*1}設計ツール「XML Authority」(エックスエムエル オーソリティ)日本語版の出荷を開始しました。XML Authority は米 Extensibility (エクステンシビリティ)社が開発したソフトウェアで、欧米では XML ベースの企業間システムの設計ツールとして、数多くの大手企業の BtoB^{*2}システム構築に使用されています。今回、日本語版をインフォテリアが開発し販売を行います。

XML Authority は、XML のスキーマ設計や管理が可能なソフトウェアで、既に英語圏を中心に全世界で 4,000 社以上の会社が XML ベースのシステム設計のために使用しています。例えば、米 J.P.Morgan 社が FpML^{*3} の設計に使用したり、米 General Motors 社が対外調達システムの設計に使用しています。

XML Authority の特長は、(1)DTD だけでなく BizTalk 準拠、CommerceOne 準拠、RELAX など数多くの XML スキーマ言語に対応していること、(2)既存の RDBMS スキーマ、COM コンポーネント、Java クラスなどの既存のデータモデルからの移行が容易なこと、(3)大変使いやすい GUI で全ての操作が可能なことなどです。

今回の発表に際して、マイクロソフト株式会社の 執行役員ビジネスインターネット事業部長の大三川彰彦氏は「マイクロソフトは、この度発表した Microsoft .NET 戦略や BizTalk フレームワークにおいて XML を基幹技術として率先して推進しています。XML Authority は、Biztalk で現在採用している XDR(XML Data Reduced)や、今後マイクロソフトが採用を予定している W3C の XML Schema などに対応しており、マイクロソフト戦略をバックアップする製品として日本語版の出荷を歓迎します。」と述べられました。

日本の XML 技術の第一人者であり、XML スキーマ言語のひとつ「RELAX」を開発されている村田真氏は、「XML スキーマ言語とは、どんな構造の文書を受け付けるかを記述す

るものです。もともと DTD にはデータ型がないなどの不備があり、その後、XML Schema, XDR, SOX, RELAX などの多くの提案が出されています。XML Authority は複数のスキーマ言語をサポートする数少ないツールで、使い勝手も良く、また日本発の RELAX をサポートしている最初の商用アプリケーションでもあるため、その出荷を歓迎しています。」と述べられました。

XML Authority 日本語版は、1 ライセンスあたり 15,000 円で、企業導入向けに、5, 10, 20, 50 の各ライセンスパックが提供されます。本製品は、インフォテリア株式会社が、国内のインフォテリアプロフェッショナルインテグレータ、およびディストリビューターを通じて販売します。また試用版の無償ダウンロードを発売と同時に開始します。試用版は 30 日間の試用期間の限定がある以外には全ての機能を試用することが可能です。

<出荷記念プレゼントキャンペーン>

今回の出荷を記念いたしまして、プレゼントキャンペーンを実施いたします。2000 年 9 月 30 日までにユーザ登録をしていただいた方の中から抽選で 5 名様に、話題のソニー製 PDA「SONY PEG-S500C」を賞品としてプレゼントします。

米 Extensibility 社について

米 Extensibility 社は、米国ノースカロライナ州チャペルヒル市に本社を置き、その製品とサービスでは、インターネットベースの企業間システムの基盤である XML スキーマをデザインし、構築し、管理し、そして処理するための能力を提供しています。同社は、米 Microsoft 社、米 Oracle 社、米 Sun Microsystems 社、米 CommerceOne 社、独 Software AG 社、米 Quark 社、米 PricewaterhouseCoopers 社といった各分野でのリーディングカンパニーとの戦略的パートナーシップを築いています。

<http://www.extensibility.com/>

インフォテリア株式会社について

インフォテリア株式会社は、1998 年、日本初の XML 専門ソフトウェア会社として設立された XML 分野のリーディングカンパニーです。東京と米ボストンに拠点を置き、世界市場に向けて XML 製品の開発と販売を行っています。インフォテリアでは、先進の XML テクノロジーをベースに XML の普及を促進するコンポーネント製品や、企業間電子商取引 (BtoB-EC) および企業間アプリケーション統合を XML ベースで行うためのソフトウェアを提供しています。

<http://www.infoteria.com/>

#

<お問い合わせ先>

記事掲載用：info@infoteria.co.jp (電子メール)
<http://www.infoteria.com/> (ウェブサイト)

<製品概要>

■XML Authority (エックスエムエル オーソリティ)

正式名称： XML Authority version 1.2

機能概要：

- XML スキーマの変換と移行
- 最新のスキーマ定義言語をサポート
- 直観的な GUI 環境による XML スキーマ設計
- XML スキーマの包括的な管理
- 名前空間のサポート

価格(税別)：

- 1 ライセンス：15,000 円
- 5 ライセンスパック：73,500 円
- 10 ライセンスパック：142,500 円
- 20 ライセンスパック：270,000 円
- 50 ライセンスパック：600,000 円

稼働環境： Microsoft Windows 95/98, Windows NT 4.0, Windows 2000

出荷日： 2000 年 7 月 28 日

<用語説明／注釈>

*1 XMLスキーマ
(エックス エム エル スキーマ)

XML文書の構造と内容モデルを記述するのに用いるメタ情報のこと。この定義を用いて文書インスタンスを検証することができる。

※例：DTD, XSDL, XDR, SOX, RELAX など

*2 BtoB
(ビートゥービー)

Business To Businessの略。B2Bとも書く。企業間取引のことで、最近ではインターネットベースの企業間取引を特に指してB2Bと呼ぶことが多い。インターネットベースの不特定他企業を対象とするシステムでは、システムやソフトウェアを統一できないため、XMLをベースとしたデータ交換、システム連携が主流となる。

*3 FpML
(エフ ピー エム エル)

Financial Products Markup Languageの略。金融派生商品の情報共有やインターネットを介した電子取引のためのプロトコルで、米J.P.Morgan社と米PricewaterhouseCoopers社が提案したもの。

以上